

平成31年度
事務事業別予算概要書

(下水道部関係)

平成31年度事務事業シート(計画)目次


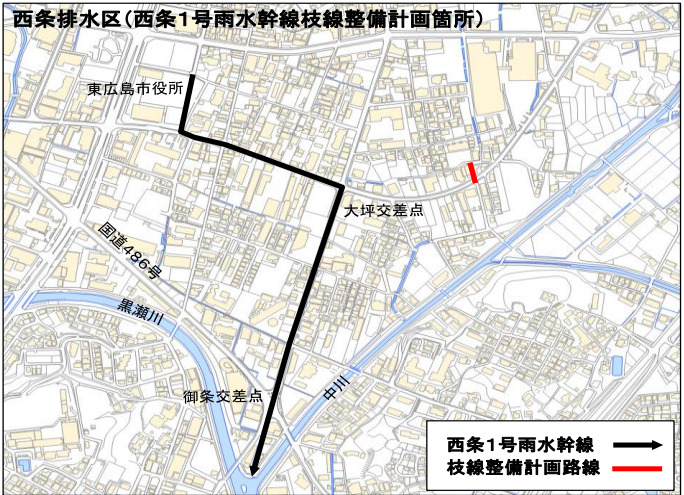
大綱	目標	施策	事務事業番号	事務事業名	所属名	掲載ページ
第2節 安全で安心な暮らしを地域で支えあうまち -安心づくり-						
③災害や犯罪などのリスクに強い安全なまち						
2-8 自然災害に強いまちづくりの推進						
			208 16	公共下水道事業(雨水)	下水道管理課・下水道建設課・下水道施設課 1
第3節 環境と調和した生活しやすいまち -快適づくり-						
①魅力ある住環境の整ったまち						
3-5 快適な市民生活を支える汚水処理の推進						
			305 3	公共下水道事業(汚水)	下水道管理課・下水道建設課・下水道施設課 2
			305 4	特定環境保全公共下水道事業	下水道管理課・下水道施設課 3
			305 5	農業集落排水事業	下水道管理課・下水道施設課 4

平成 31 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号 208 - 16	新規・継続	継続
事務事業名	公共下水道事業(雨水)	下水道事業会計	混在
所 属	下水道部 下水道管理課・下水道建設課・下水道施設課	総合計画施策体系	2 - 8

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	市街地において、豪雨時の道路の冠水や排水路の溢水による浸水被害から市民の生命、身体及び財産を守るため、浸水対策施設を整備し、自然災害に強いまちづくりを推進する。						
対象 (誰・何を対象に)	西条排水区、寺家排水区及び蛇道川排水区において内水浸水被害を被る住民等						
事業の概要及びH31活動計画	<p>1 計画的、効率的な施設の建設と更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメント計画に基づく雨水排水施設の健全化を図る。 <p>【資本的支出 962千円】</p> <p>(1) スtockマネジメント計画策定(962千円)</p> <p>2 災害に強い下水道の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浸水対策施設の機能を維持するため、適正な維持管理を行う。 ・西条排水区及び寺家排水区(西条第二地区)における雨水管渠の建設工事並びに内水浸水想定区域図の作成を行う。 <p>【収益的支出 26,397千円】</p> <p>(1) 管渠・ポンプ場管理(26,397千円)</p> <p>【資本的支出 172,000千円】</p> <p>(1) 内水浸水想定区域図作成(28,000千円)</p> <p>(2) 雨水管渠建設工事(西条第二地区、西条排水区)(144,000千円)</p>						
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>寺家排水区(西条第二地区)</p> <p>計画区域 寺家8号雨水幹線 工事計画箇所</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>西条排水区(西条1号雨水幹線枝線整備計画箇所)</p> <p>西条1号雨水幹線 枝線整備計画路線</p> </div> </div>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)		
	整備延長累計(西条・寺家排水区)	m	1,210	1,325	1,412		
成果目標 (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	雨水浸水対策事業は、雨水排水管路等の対策施設の完成によって事業効果が得られるため、事業を実施する西条及び寺家排水区の管路等の整備率(整備延長累計/全体計画延長)を指標とする。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	29年度(実績値)	30年度(目標値)	31年度(目標値)	32年度(目標値)	47年度(目標値)
	整備率(延長ベース) (西条・寺家排水区)	%	27	30	32	達成率	100

3 コスト情報

	29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
収益的収入	260,650 千円	272,971 千円	276,252 千円	千円
収益的支出	261,457 千円	272,971 千円	276,252 千円	千円
差引	△ 807 千円	0 千円	0 千円	千円
当年度純利益(又は純損失)	△ 747 千円	1,649 千円	1,990 千円	千円
資本的収入	9,832 千円	199,414 千円	184,688 千円	千円
資本的支出	121,549 千円	283,835 千円	291,656 千円	千円
差引	△ 111,717 千円	△ 84,421 千円	△ 106,968 千円	千円

平成 31 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	305 - 3	新規・継続	継続
事務事業名	公共下水道事業(汚水)	下水道事業会計			混在
所 属	下水道部 下水道管理課・下水道建設課・下水道施設課			総合計画施策体系	3 - 5

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	生活環境の向上と河川や海域等の公共用水域の水質保全のため、市街地における生活排水等の汚水処理施設の整備を図り、安全で快適な生活環境を形成する。													
対象 (誰・何を対象に)	公共下水道事業計画区域内の住民等 東広島処理区、黒瀬処理区、安芸津処理区、沼田川処理区(入野処理分区を除く)													
事業の概要及びH31活動計画	<p>1 下水道経営の健全化</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道事業経営戦略により計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図る。 <table border="1"> <thead> <tr> <th align="center">経営分析指標</th> <th align="center">29年度(決算)</th> <th align="center">31年度(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100</td> <td align="center">100.2%</td> <td align="center">103.7%</td> </tr> <tr> <td>経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100</td> <td align="center">100.0%</td> <td align="center">99.3%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 処理場、ポンプ場等の適正な運転・維持管理を行うとともに、維持管理費の抑制を図る。 使用料等の効率的な賦課徴収事務と早期の滞納整理により、収納率の向上を図る。 排水設備工事に係る事務を行うとともに、下水道の普及促進を図る。 <p>【収益的支出 1,168,492千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 処理場管理(965,063千円) (2) 管渠・ポンプ場管理(108,399千円) (3) 使用料徴収事務委託(95,030千円) <p>【資本的支出 10,200千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 水洗便所改造資金貸付金(10,200千円) <p>2 計画的、効率的な施設の建設と更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ストックマネジメント計画に基づき下水道施設の健全化を図る。 下水道未普及解消整備計画に基づき、汚水管渠等の整備を促進する。 処理場施設を計画的に建設するとともに、長寿命化計画に基づき老朽化施設の改築を行う。 <p>【資本的支出 1,699,530千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) スtockマネジメント計画策定(16,233千円) (2) 汚水管渠基本・実施設計業務(92,000千円) (3) 汚水管渠建設・ポンプ設備設置工事(936,048千円) (4) 工事負担金(檜原地区)(6,000千円) (5) 長寿命化対策(東広島浄化センターポンプ設備等改築工事委託ほか)(649,249千円) <p>3 災害に強い下水道の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 現行の耐震基準に適合していない既存の下水道施設の耐震化を図る。 <p>【資本的支出 55,000千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) マンホールトイレ整備詳細設計業務(8,000千円) (2) 耐震化対策(高屋中継ポンプ場耐震化工事委託)(47,000千円) 					経営分析指標	29年度(決算)	31年度(当初)	経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100	100.2%	103.7%	経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100	100.0%	99.3%
	経営分析指標	29年度(決算)	31年度(当初)											
経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100	100.2%	103.7%												
経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100	100.0%	99.3%												
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)									
	新規供用開始面積	ha	50	27	22									
成果目標 (指標設定理由、計算式、数値上では現れにくい成果)	事務事業の目的の直接的な成果指標である公共下水道人口普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)を指標とする。													
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	29年度(実績値)	30年度(目標値)	31年度(目標値)	32年度(目標値)	47年度(目標値)							
	公共下水道人口普及率 (特定環境保全公共下水道を含む)	%	45.1	45.6	47.4	達成率	65.2							

3 コスト情報

	29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
収益的収入	4,056,769 千円	4,186,737 千円	4,225,119 千円	千円
収益的支出	3,949,667 千円	3,900,207 千円	3,932,776 千円	千円
差引	107,102 千円	286,530 千円	292,343 千円	千円
当年度純利益(又は純損失)	5,200 千円	153,438 千円	134,786 千円	千円
資本的収入	2,132,201 千円	3,199,672 千円	2,177,035 千円	千円
資本的支出	3,501,640 千円	4,680,990 千円	3,617,316 千円	千円
差引	△ 1,369,439 千円	△ 1,481,318 千円	△ 1,440,281 千円	千円

平成 31 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号 305 - 4	新規・継続	継続
事務事業名	特定環境保全公共下水道事業 下水道事業会計		混在
所 属	下水道部 下水道管理課・下水道施設課	総合計画施策体系	3 - 5

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	市街化区域以外の区域における生活排水を処理し、河川等の公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を図る。													
対 象 (誰・何を対象に)	特定環境保全公共下水道事業計画区域内の住民等 福富処理区、豊栄処理区、沼田川処理区(入野処理分区)													
事業の概要 及び H31活動計画	<p>1 下水道経営の健全化</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道事業経営戦略により計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図る。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">経営分析指標</th> <th style="text-align: center;">29年度(決算)</th> <th style="text-align: center;">31年度(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100</td> <td style="text-align: center;">98.6%</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td>経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100</td> <td style="text-align: center;">33.8%</td> <td style="text-align: center;">30.3%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 処理場、マンホールポンプ等の適正な運転・維持管理を行うとともに、維持管理費の抑制を図る。 使用料等の効率的な賦課徴収事務と早期の滞納整理により、収納率の向上を図る。 排水設備工事に係る事務を行うとともに、下水道の普及促進を図る。 <p>【収益的支出 95,838千円】</p> <ol style="list-style-type: none"> 処理場管理(80,513千円) 管渠・ポンプ場管理(13,527千円) 使用料徴収事務委託(1,798千円) <p>2 計画的、効率的な施設の建設と更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ストックマネジメント計画に基づき下水道施設の健全化を図る。 処理場施設を計画的に建設するとともに、長寿命化計画に基づき老朽化施設の改築を行う。 <p>【資本的支出 251,894千円】</p> <ol style="list-style-type: none"> ストックマネジメント計画策定(3,305千円) 長寿命化対策(福富浄化センター水処理設備改築工事委託)(166,589千円) 処理場施設建設(豊栄浄化センター汚泥脱水設備設置工事委託)(82,000千円) <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>福富浄化センター 処理能力540m³/日最大 平成10年4月供用開始</p> </div>					経営分析指標	29年度(決算)	31年度(当初)	経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100	98.6%	100.0%	経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100	33.8%	30.3%
経営分析指標	29年度(決算)	31年度(当初)												
経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100	98.6%	100.0%												
経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100	33.8%	30.3%												
活動・結果 指 標		単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)									
	普及促進活動対象戸数	戸	36	100	100									
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	普及促進活動の直接的な成果である新規下水道接続戸数を指標とする。													
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	29年度 (実績値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	31年度 (実績値)	32年度 (目標値)	一年度 (目標値)						
	新規接続戸数	戸	5	10	10		-							

3 コスト情報

	29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
収益的収入	241,041 千円	224,972 千円	223,037 千円	千円
収益的支出	244,787 千円	229,870 千円	228,662 千円	千円
差引	△ 3,746 千円	△ 4,898 千円	△ 5,625 千円	千円
当年度純利益(又は純損失)	△ 3,435 千円	0 千円	0 千円	千円
資本的収入	57,902 千円	253,394 千円	261,550 千円	千円
資本的支出	107,451 千円	303,234 千円	312,531 千円	千円
差引	△ 49,549 千円	△ 49,840 千円	△ 50,981 千円	千円

平成 31 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	305 - 5	新規・継続	継続
事務事業名	農業集落排水事業	下水道事業会計			混在
所 属	下水道部 下水道管理課・下水道施設課			総合計画施策体系	3 - 5

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	農業振興地域における生活排水を処理し、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持および農村生活環境の改善を図る。													
対象 (誰・何を対象に)	農業集落排水処理区域内の住民等 志和堀地区、板城地区、保田地区、大内原地区													
事業の概要 及び H31活動計画	<p>1 下水道経営の健全化 ・下水道事業経営戦略により計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">経営分析指標</th> <th style="text-align: center;">29年度(決算)</th> <th style="text-align: center;">31年度(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100</td> <td style="text-align: center;">95.1%</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td>経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100</td> <td style="text-align: center;">42.5%</td> <td style="text-align: center;">47.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・処理場、マンホールポンプ等の適正な運転・維持管理を行うとともに、維持管理費の抑制を図る。 ・使用料等の効率的な賦課徴収事務と早期の滞納整理により、収納率の向上を図る。 ・排水設備工事に係る事務を行うとともに、下水道の普及促進を図る。</p> <p>【収益的支出 100,735千円】 (1) 処理場管理(86,844千円) (2) 管渠・ポンプ場管理(11,491千円) (3) 使用料徴収事務委託(2,400千円)</p> <p>【資本的支出 1,800千円】 (4) 水洗便所改造資金貸付金(1,800千円)</p> <p>2 計画的、効率的な施設の建設と更新 ・ストックマネジメント計画に基づき下水道施設の健全化を図る。</p> <p>【資本的支出 67,500千円】 (1) 志和堀農業集落排水処理施設事業計画策定(7,500千円) (2) 板城農業集落排水管渠更生工事(60,000千円)</p>					経営分析指標	29年度(決算)	31年度(当初)	経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100	95.1%	100.0%	経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100	42.5%	47.4%
経営分析指標	29年度(決算)	31年度(当初)												
経常収支比率 = (経常収益/経常費用) × 100	95.1%	100.0%												
経費回収率 = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100	42.5%	47.4%												
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>板城地区農業集落排水処理施設 処理能力519m³/日最大 平成14年4月供用開始</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>板城農集の陶管クラック状況 クラックから地下水流入</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>クラック 侵入水 クラックから地下水流入</p> </div> </div>													
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)									
	普及促進活動対象戸数	戸	54	150	100									
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	普及促進活動の直接的な成果である新規下水道接続戸数を指標とする。													
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	29年度 (実績値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	32年度 (目標値)	31年度 (実績値)	達成率	32年度 (目標値)	一年度 (目標値)				
	新規接続戸数	戸	12	10	10				-					

3 コスト情報

	29年度(決算)	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(予算)
収益的収入	248,274 千円	228,768 千円	225,601 千円	千円
収益的支出	252,640 千円	232,223 千円	229,891 千円	千円
差引	△ 4,366 千円	△ 3,455 千円	△ 4,290 千円	千円
当年度純利益(又は純損失)	△ 3,414 千円	0 千円	0 千円	千円
資本的収入	13,624 千円	75,161 千円	99,124 千円	千円
資本的支出	66,350 千円	121,844 千円	147,136 千円	千円
差引	△ 52,726 千円	△ 46,683 千円	△ 48,012 千円	千円